



平成29年1月5日
海上保安庁

解役巡視船のマレーシアへの供与について ～ 当庁から外国海上保安機関への初の巡視船供与 ～

平成29年1月に解役となる巡視船「えりも」「おき」が、マレーシア政府の要請を受けて、マレーシアの海上法執行機関であるマレーシア海上法令執行庁（MMEA）に供与されることとなりました。
当庁から外国海上保安機関への巡視船供与は初めてになります。

1 概要

平成29年1月24日に解役となる、釧路海上保安部巡視船「えりも」及び境海上保安部巡視船「おき」は、マレーシア政府の要請を受けて、マレーシアの海上法執行機関であるマレーシア海上法令執行庁（MMEA）に供与される予定です。

マレーシアは、マラッカ・シンガポール海峡を始めとする海上交通の要衝に位置しており、同国の経済・貿易活動は海上交通に多くを依存していることから、海上の安全確保は、同国の経済及び社会的安定並びに国民生活の更なる発展に不可欠であるとともに、マレーシア周辺諸国のほか、国際海運に大きく依存する我が国にとっても非常に重要な地域となっています。

海上保安庁はこれまでもマレーシアの海上保安能力強化のための人材育成等の協力を行ってきました。今回の巡視船供与がMMEAの能力向上の一助となることに加え、本供与を契機に、両海上保安機関の連携・協力が益々発展することが期待されます。



2 今後の予定

1月19日～20日 国内の造船所において当庁職員による MMEA 職員に対する訓練及び引継ぎ実施（詳細は別途広報予定）

3月上旬 国内の造船所からマレーシア向け出港（えりも）

4～6月 国内の造船所からマレーシア向け出港（おき）

※両船は今後、国内の造船所にて所要の改修等を行った後、マレーシアに向け出港します。